

一般社団法人ラテンアメリカ協会

2022年度定時会員総会

資料



一般社団法人 ラテンアメリカ協会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 120A(1階)



一般社団法人 ラテンアメリカ協会

第10回定時会員総会 次第

日時 2022年 6月21日(火)15:00～16:30

場所 三菱商事株式会社 会議室

東京都千代田区丸の内二丁目 2番 1号

1. 開 会

2. 審議事項

- 第 1 号議案 2021年度事業報告書の件……【報告事項】
- 第 2 号議案 2021年度決算書類承認の件……【決議事項】
- 第 3 号議案 2022年度事業計画の件……【報告事項】
- 第 4 号議案 2022年度収支予算の件……【報告事項】
- 第 5 号議案 理事選任の件 …………… 【決議事項】

3. その他

4. 閉会

一般社団法人ラテンアメリカ協会2022年 度定時会員総会 議案説明書

<p>第1号議案</p> <p>2021年度 事業報告書</p> <p>【報告事項】</p>	<p>定款の規定に基づき、「2021年度事業報告書」は理事会で承認済。</p> <p>2021年度末会員数は、期首比、個人14名増、法人1社増、他（在外会員・学生・大使館・図書館）増の計 28増の 386名・団体（個人244名、法人74社、他）となった。主たる事業活動である講演会・セミナーは、新型コロナ禍の影響で年度を通して全てZOOMによるリモート形式開催した。講演会16件（参加者985名・1回の共催除く）、ラテンアメリカ・カリブ研究所の大来記念政策フォーラム4件（参加者143名）、IADの共催セミナー1件（非公開ラウンドテーブル1回：参加者27名、公開セミナー1回：参加者300名強）開催した。季刊誌「時報」はコロナ禍にも係わらず四半期毎の発行を継続した。</p>
<p>第2号議案</p> <p>2021年度 決算書類承認</p> <p>【決議事項】</p>	<p><前年度比：正味財産増減計算書（経常収支）より> <予算比：収支計算書より></p> <p>収入について、2021年度予算では、前年度収入比約50万円増と見込んだが、会員費は約25万円増ながら、2021年下期より対面で可能と予測した講演会・セミナーが全てリモート方式となったことに伴う講演会収入減の約50万円と、IAD共催セミナー関連の収入減約30万円により、収入合計では予算比約60万円の減となった。</p> <p>支出の内、事業費について2021年度予算750万円に対し決算は650万円の100万円減で、IAD共催セミナー関連で想定し、実現しなかった米国への出張旅費100万円が太宗を占めた。管理費について予算647万円、決算は565万円で、支出減少82万円の要因は、事務局の在宅勤務により交通費支出減が約40万円、他に、支出がなかった理事費10万円、備品10万円の他、光熱費減が約8万円などとなっている。</p> <p>この結果、収支差額合計は予算の略ゼロから120万円の黒字となった。</p>
<p>第3号議案</p> <p>2022年度 事業計画</p> <p>【報告事項】</p>	<p>定款の規定に基づき、「2022年度事業計画」は理事会で承認済。</p> <p>3年前の「2019年度事業計画」で承認された当協会の3コア事業、</p> <ol style="list-style-type: none">①ラテンアメリカ情報の集積・発信（Information）②ラテンアメリカ情勢等の研究・提言（Think Tank）③出会いと交流の場の提供（Networking）の充実強化の実施4年目。 <p>コロナ禍の下で「交流」には制約がある事から、特に「情報」、「研究」について一層の充実を図る。</p> <p>「情報」について：ホームページ・新着情報メルマガの改善は実施済み、</p>

	<p>「時報」編集体制強化の取組み、報告会・セミナーについて「なるほどトーク」の取組み、講演会・セミナーの新年度の後半でハイブリッド体制を想定。</p> <p>「研究」では研究所の研究員に中南米の日本国大使館での専門調査員修了者が2名採用され、今後の活躍や中南米関係者に研究所が認知されつつある中、IAD共催セミナーは外務省にIADより予算申請済み。</p> <p>「交流」では新型コロナの情勢で見通しが難しい。</p> <p>「事業・運営体制の強化」では、上述「時報」編集体制強化の取組みと法人会員の新たなカテゴリーとして「スタートアップ企業」を対象とした会員種が設けられ、新年度以降、新規会員獲得に向けて活動する。</p>
<p>第 4 号議案</p> <p>2022年度 収支予算</p> <p>【報告事項】</p>	<p>定款の規定に基づき、「2022年度収支予算」は理事会で承認済。</p> <p>< 2021年度比：収支予算書 ></p> <p>事業活動収入の内「会費収入」の前提は法人会員1社増の75社、個人会員235人、駐日大使館1増（ハイチ）と想定、それ以外の会員は2021年度と同様と想定。</p> <p>「講演会・セミナー収入」は2021年度の予算と同額を見込み、それ以外の「時報」直売など他収入は2021年度並みを想定。但し、IAD共催セミナー収入については2021年度決算127万円に対し固めの50万円と予想し、協会努力による収入増を課題とする。</p> <p>事業活動支出では「時報」編集体制強化で年間40万円の追加を見込み、IAD共催セミナー関連支出の内、旅費では2021年度予算の100万円の半額50万円を見積り、2021年度決算比約100万円増とした。</p> <p>管理費支出では理事費は昨年度予算同様10万円、交通費は在宅勤務減による増加38万円、備品昨年度予算同様10万円、雑費も新型コロナ状況改善に伴う活動増大により20万円など、合計約80万円増とした。</p> <p>以上より、収支差額が63万円の赤字となる予算案となっている。</p> <p>尚コロナ禍の状況次第で、予算が変動する可能性がある。</p>
<p>第 5 号議案</p> <p>理事・監事選任の件</p> <p>【決議事項】</p>	<p>別紙の通り理事 20名、監事 2 名を推挙いたします。</p> <p>理事20名内訳：新任5名、再任（重任）15名</p> <p>監事 2名内訳：新任1名、再任（重任）1名</p>

(案) 2021 (令和 3) 年度事業報告 (4~3 月)

1. 2021 年度実績概況 (4~3 月)

(1) 会員数

- 今年度期首の 358 団体・個人に対し、28 増の 386 団体・個人 (内訳: 法人 73⇒74【+ 1 : 一般財団法人 日本国際協カシステム 2022 年 1 月~】、個人 230⇒244、学生 10⇒11、在外 21⇒31、賛助 (大使館) 14⇒15【+ 1 : 駐日ハイチ大使館 2022 年 3 月~】、国別団体 9⇒10【+ 1 : 日本コロンビア協会 2021 年 7 月~】、図書館 1⇒1)。

(2) 事業活動 (詳細後述)

- 講演会・セミナー開催 :
16 回 (内 1 回は共催)・累計 985 人 (共催除く 15 回: 平均 66 名/回)
(2020 年度 10 回 592 人: 平均約 60 名/回、2019 年度 16 回 711 人: 平均 44 名/回)
- 大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム開催: 4 回・累計 143 名 (平均 36 名/回)
(2020 年度 3 回、102 名: 平均 34 名/回、2019 年度 4 回、129 名: 平均約 32 名/回)
- 米国インターアメリカン・ダイアログとの共催セミナーは 2020 年度リモートによる開催に続き、同じくリモートで 2021 年 12 月にラウンドテーブル 1 回、オープンセッション 1 回を開催。
- 季刊誌「ラテンアメリカ時報」: 4 回 (春、夏、秋、冬: 600 部) 発行
- WEB 情報発信 (HP・メルマガ・Facebook) :
HP トップページメニューバーに表示される各項目を整理し、会員限定の資料は「各種資料」に集中し、又、インターアメリカン・ダイアログ共催セミナーの 2017 年の第 1 回セミナー以降の 7 回分のセミナー概要を一覧できるサイトを「各種資料」に格納した。
「関連機関」では各種機関の一覧性を持たせリスト化した。
- 講演会などは引き続き ZOOM 方式のオンライン形式とし (ZOOM プロ機能+ 参加者 500 名上限)、1GB/回レベルの講演会録画を法人用 One Drive に格納し、必要に応じ録画リンク先を参加者と共有可能としている。講演会参加者リストは自動集計している。

2. 組織活動

(1) 2021 年度 定時会員総会

2021 年 6 月 25 日 (金) 正会員数 314 名
出席 3 名 (理事 3)、委任 169、議決権行使 9 ; 計 181 名

- 議題

- 審議事項

- 第 1 号議案 2020 年度事業報告書の件【報告事項】

- 第 2 号議案 2020 年度決算書類承認の件【決議事項】

- 第 3 号議案 2021 年度事業計画の件【報告事項】

第 4 号議案 2021 年度収支予算・・・・・・・・・・【報告事項】

第 5 号議案 理事選任の件・・・・・・・・・・【決議事項】

(2) 理事会

- ① 2021 年度 第 1 回 理事会（会員総会前「紙上理事会」）
2021 年 6 月 3 日（木）（佐々木幹夫会長 紙上理事会についての書信日付）
承認要請議案
1. 2020 年度事業報告（案）
2. 2020 年度決算書類（案）（監査報告書（写）添付）
- ② 2021 年度 第 2 回理事会（オンライン）
2021 年 12 月 23 日（木）
議題
第 1 号議案：2021 年度 4～11 月の事業執行状況の件・・・・・・[報告事項]
第 2 号議案：2021 年度 4～11 月の予算執行状況の件・・・・・・[報告事項]
第 3 号議案：代表理事および業務執行理事の職務執行報告・・・[報告事項]
第 4 号議案：その他
- ③ 2021 年度 第 3 回理事会（オンライン）
2022 年 3 月 30 日（水）
議題
第 1 号議案：2021 年度事業報告案・・・・・・・・・・ [報告事項]
第 2 号議案：2021 年度決算見通し・・・・・・・・・・ [報告事項]
第 3 号議案：2022 年度事業計画案・・・・・・・・・・ [決議事項]
第 4 号議案：2022 年度予算案・・・・・・・・・・ [決議事項]
第 5 号議案：会費規程改訂・・・・・・・・・・ [決議事項]
第 6 号議案：2021 年度理事候補・・・・・・・・・・ [報告事項]
第 7 号議案：代表理事および業務執行理事の職務内容の報告
第 8 号議案：その他

(3) 常務理事会

<常務理事会概要を理事・監事・顧問へメール案内開始>

- ① 2021 年 4 月 27 日（火）
- ② 2021 年 5 月 19 日（水）
- ③ 2021 年 6 月 24 日（木）
- ④ 2021 年 7 月 28 日（水）
- ⑤ 2021 年 8 月 25 日（水）
- ⑥ 2021 年 9 月 27 日（月）
- ⑦ 2021 年 10 月 29 日（金）
- ⑧ 2021 年 11 月 24 日（水）
- ⑨ 2021 年 12 月 17 日（金）
- ⑩ 2022 年 1 月 26 日（水）
- ⑪ 2022 年 2 月 22 日（火）
- ⑫ 2022 年 3 月 18 日（金）

(4) 監査報告書

- 2021年度監査報告書：2022年5月24日付

理事会その他の重要な会議に出席するなど、理事等と意思疎通を図り、会計帳簿、これに関する資料、その他重要な決裁文書及び報告書の閲覧・調査を行い、当法人の理事等から財産の状況並びに職務執行に関する報告を受け、必要に応じて説明を求め2020年度事業報告・計算書類・関連附属明細書・実施報告書、理事職務執行の監査を実施。

3. 会員状況（2022年3月31日現在）

会員種別	2021.3末	2021.4.1	2022.3末	増減	会費未納者
法人会員	78	73	74	1	0（昨年同期0）
個人会員	235	230	244	14	11（同0）
国別団体会員	9	9	10	1	0（同0）
在外会員	22	21	31	10	4（同0）
賛助会員（大使館）	14	14	15	1	0（同0）
賛助会員（学生）	11	10	11	1	4（同0）
図書館会員	1	1	1	0	0
計	370	358	386	28	19（同0）

4. 事業活動

(1) 講演会

開催実績（オンラインにより従来の約40+/-10名/回から66名/回に増大）

	2017年度	2018年度	2019年度 (*)	2020年度 (実質半年)	2021年度
開催回数	23	18	16	12 (内2回は共催)	16 (内1回が共催)
参加人数	1,231	892	711	592 (共催2回を除く)	985 (共催1回を除く)
収 益	1,002千円	594千円	184千円	30千円 (10回分)	34千円

(*)2019年8月より講演料の事前支払いシステムを稼働（クレジットカード、コンビニ払いなど）。

<講演会概要：講師 敬称略>

- ① 2021年04月28日 ラテンアメリカあれこれトーク：シリーズ第1回
「食料自給率世界一、農林牧畜大国パラグアイの魅力」【参加者】115名
講師：株式会社アディルガス代表取締役 硯田一弘
- ② 2021年5月7日 ブックトーク第1回
「畑恵子・浦部浩之編『ラテンアメリカー地球規模課題の実践』（前半）
“新たな世界秩序構築への試み”」【参加者】：44名
講師：畑恵子（早稲田大学）、浦部浩之（獨協大学）、舩方周一郎（東京外国語大学）、

田村梨花（上智大学）、子安昭子（上智大学）

- ③ 2021年5月21日 ブックトーク第2回
「畑恵子・浦部浩之編『ラテンアメリカー地球規模課題の実践』（後半）
“社会が投げかける諸問題への取り組み”」【参加者】：34名
講師：宇佐見耕一（同志社大学）、渡部奈々（獨協大学）、新木秀和（神奈川大学）、
杉山知子（愛知学院大学）、畑恵子（早稲田大学）
- ④ 2021年5月27日 ラテンアメリカなるほどトーク：シリーズ第2回
『葉巻の話』 【参加者】36名
講師：前在バルセロナ日本国総領事 渡邊尚人
- ⑤ 2021年6月10日 「キューバ：ラウル・カストロ治世 15年の軌跡と新体制の今後」
【参加者】54名
講師：駐キューバ臨時代理大使 横林直樹
- ⑥ 2021年6月29日 ラテンアメリカなるほどトーク：シリーズ第3回
『Okinawa To 沖縄プロジェクト』【参加者】60名
講師：伊島代表取締役 島袋正克
- ⑦ 2021年7月21日 ラテンアメリカなるほどトーク：シリーズ第4回
『ラテンアメリカに適した人材とは』 【参加者】123名
講師：桜井悌司（ラテンアメリカ協会常務理事）
- ⑧ 2021年7月27日 「コロンビア：パンデミック下での政治・経済・社会の現況と
地域外交の展開」【参加者】 60名
講師：駐日コロンビア大使 サンティアゴ・パルド
- ⑨ 2021年9月16日 ラテンアメリカ なるほどトーク：シリーズ第5回
『新スペイン語の逆襲～米国ヒスパニックが用いるスパングリッシュは定着するか～』
【参加者】53名
講師：メヒココンサル代表 瀧澤寿美雄
- ⑩ 2021年10月15日 ラテンアメリカなるほどトーク：シリーズ第6回
『ラテンアメリカ諸国の国旗の不思議』【参加者】63名
講師：日本旗章学協会会員 西岡勝樹
- ⑪ 2021年11月8日 「経済危機下でどう読むかー『アルゼンチンの主要産業』概要報告」
【参加者】36名
講師：ジェトロ（日本貿易振興機構）ブエノスアイレス事務所長 西澤裕介
- ⑫ 2021年11月18日 ラテンアメリカなるほどトーク：シリーズ第7回＜最終回＞
『刊行14年、「中南米が日本を追い抜く日」（朝日新書出版）を再読
商社マンから協会役員にラテンアメリカ親交の半世紀をベースに』【参加者】130名
講師：工藤章（ラテンアメリカ協会理事）

- ⑬ 2022年1月21日 「4年3カ月の在ブラジル大使を終えて」
 <日本ブラジル中央協会との共催> 【参加者】約200名
 講師：前駐ブラジル日本大使 山田彰
- ⑭ 2022年1月28日 「ウルグアイ-小さくてもキラリと光る国」 【参加者】55名
 講師：前駐ウルグアイ日本国大使 眞銅竜日郎
- ⑮ 2022年03月17日 「2022年度の対中南米外交を展望する」 【参加者】88名
 講師：外務省中南米局長 小林麻紀
- ⑯ 2022年03月18日 「わが国製造業企業の海外事業展開の調査報告」 【参加者】34名
 講師：国際協力銀行（JBIC）企画部門調査部第1ユニット長 春日剛
 同 係員 庭田うらら
 コメンテーター：JETRO（日本貿易振興機構）中南米担当主幹 峯村直志
 矢崎総業（株）経営企画室主査 西山英彦

(2) 法人会員異業種ラテンアメリカ情報交換会：2021年4月—2022年3月 なし

(3) 第7回 IAD 共催セミナー：米 IAD（インターアメリカン・ダイアログ）共催セミナー
 （リモート形式：IADのプラットフォーム）

① 12月9日 オープニング+ラウンドテーブル1（参加 27名）

“Toward Pandemic Recovery in LAC: Exploring New Dimensions of US-Japan-LAC
 Interregional Cooperation”

「パンデミック後のラテンアメリカ・カリブ地域の復興に向けて

– 日・米・ラテンアメリカの地域間協力の新たな局面を探る–」

Welcome :Michael Shifter, President, Inter-American Dialogue

Lead-off Remarks:

Sachiko Imoto

Senior Vice President, Japan International Cooperation Agency

Sonia Guzmán

Ambassador of the Dominican Republic to the US

Arturo Condo

President, EARTH University

Elaine Genser

Head of Partnerships and Development,

United Nations Joint SDG Fund

João Carlos Ferraz

Associate Professor, Institute of Economics,

Federal University of Rio de Janeiro

Moderator :Margaret Myers,
Director, Asia & Latin America Program, Inter-American Dialogue

② 12月16日 オープンセッション (参加 300名強)

「パンデミック後のラテンアメリカ・カリブ地域の復興に向けて」

— 日・米・ラテンアメリカの地域間協力の新たな局面を探る

パネリスト:

井上 圭二 (KEIJI INOUE)

国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会 (ECLAC) 経済担当シニア・オフィサー
ピーター・ナティジョ (PETER NATIELLO)

米国国際開発庁 (USAID) ラテンアメリカ・カリブ地域担当副長官代理
アンジェロ・ゲハ (ANGELO GUERRA)

NEC ブラジル最高経営責任者

井本 佐智子 (SACHIKO IMOTO)

独立行政法人国際協力機構 (JICA) 理事

富田 宏 (TOMITA HIROSHI)

PwC アドバイザリー ディレクター

モデレーター

マーガレット・マイヤーズ (MARGARET MYERS)

Inter-American Dialogue アジア部長

(4) ラテンアメリカ関連団体連絡会議

- ① 2021年 6月10日 第34回ラテンアメリカ関連団体会議
- ② 2021年 9月 9日 第35回ラテンアメリカ関連団体会議
- ③ 2021年12月 3日 第36回ラテンアメリカ関連団体会議
- ④ 2022年 3月 4日 第37回ラテンアメリカ関連団体会議

※参加団体・機関 (17団体・2機関)

京都ラテンアメリカ文化協会、日本アルゼンチン協会、日本ウルグアイ協会、
グアテマラ・マヤ文化協会、日本コロンビア友好協会、日本チリ協会、日伯協会、
日本ニカラグア友好協会、日本・パナマ友好協会、日本パラグアイ協会、日本ブラジル中央協会、
日本ペルー協会、日本ベネズエラ協会、日本ボリビア協会、
メキシコ・日本アミーゴ会、日本・ドミニカ共和国友好親善協会、ラテンアメリカ協会、
外務省中南米局、米州開発銀行 (IDB) アジア事務所

・リモート会議により、京都ラテンアメリカ文化協会に定期的に参加頂けるようになった。

(5) その他 (後援・協力事業):

名義貸し後援の事業 (2021年5月 ラテン・フェスティバル 2021 in お台場) が
新型コロナウイルス感染の影響で中止となった。

(6) 出版事業

ラテンアメリカ時報（協会季刊誌、年4回発行）

- ① 4月25日2021年春号(1434)
「特集 米国バイデン新政権とラテンアメリカ 模索と期待」
- ② 7月25日2021年夏号(1435)「特集 変貌を遂げる南米内陸国パラグアイ」
- ③ 10月25日2021年秋号(1436)
「特集 デジタルトランスフォーメーション(DX)の時代－日本とラテンアメリカの協力」
- ④ 1月25日2021/22年冬号(1437)
「特集 ラテンアメリカは再びピンク・タイド化か？」

(7) WEB 広報事業

① ホームページ:

HP トップページメニューバーに表示される各項目を整理し、項目毎に格納する情報に一貫性を持たせた。

例 「講演会等」には新たに完了済の講演会案内を残す。
「各種資料」に会員限定の資料を集約し、ニュースなどは「ニュース・イベント」に集約。
「各種資料」の「インターアメリカン・ダイアログ共催セミナー」は2017年の第1回より昨年12月の第7回までの各回概要を纏めたHP内資料を集約した。
「関連機関」の内容を充実（シンクタンクや国際的機関・銀行などをリストし一覧性を持たせ、そのHPや発表資料を表示。

② フェイスブック：イベント案内等、各種情報の発信

③ メルマガ：新着情報を配信（定期：毎週火曜日、不定期：講演会開催案内など）

5. ラテンアメリカ・カリブ研究所

研究所所長 堀坂浩太郎

研究顧問 細野昭雄

シニア研究所員 桑山幹夫

シニア研究所員 桜井悌司

シニア・フェロー ホワイト和子

研究員 浜端喬

研究員 高橋亮太

(1) 事業：大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム

① ■第15回例会

【日時】2021年4月19日(月) 10:00~11:30

【場所】ZOOM会議室

【出席者】30名

【テーマ】「日米伯3元セミナーから考える－ポスト・コロナの新たな日本とラテンアメリカ関係構築－」

【発表者】基調報告：佐々木 修（ラテンアメリカ協会 専務理事）

個別テーマ：細野昭雄（ラテンアメリカ協会 顧問）

桑山幹夫（ラテンアメリカ協会 常務理事）

中村圭介（ラテンアメリカ協会 理事）
ホワイト和子（ラテンアメリカ・カリブ研究所シニア・フェロー）

② ■第 16 回例会

【日時】 2021 年 7 月 26 日(月) 17:15-18:30

【場所】 ZOOM 会議室

【出席者】 37 名

【テーマ】「対ラテンアメリカへ、コロナ後に向け民からの問題提起」

【発表者】 豊田通商株式会社食料生活産業本部・COO（執行幹部）加藤茂治

～ブラジル穀物事業における課題と提言～

PwC アドバイザリー合同会社インフラストラクチャー部門・ディレクター 富田 宏

～2050 年にネットゼロを目指すラテンアメリカと日本～

三菱 UFJ 銀行トランザクションバンキング部・部長 小川正義

～ラテンアメリカ主要国のチャンスとリスク～

③ ■第 17 回例会

【日時】 2021 年 10 月 18 日(月) 17:15-18:30

【場所】 ZOOM 会議室

【出席者】 44 名

【テーマ】「ラテンアメリカ諸国の政治の潮流～COVID-19 と大統領選挙による変化～」

【発表者】 正本謙一 外務省中南米局 中米カリブ課長

豊田尚吾 外務省中南米局 南米課長

④ ■第 18 回例会

【日時】 2022 年 1 月 17 日(月) 17:15-18:30

【場所】 ZOOM 会議室

【出席者】 32 名

【テーマ】「多極化時代のラテンアメリカへのアプローチ

—米欧日からアジア、アフリカ、中東、オセアニアまで」

【発表者】 堀坂研究所所長

(2) 研究論文：HP 掲載日（全て一般公開）

- ① 2021 年 4 月 15 日 「新型コロナ・ウイルス感染再爆発のラテンアメリカ：ワクチンだけで蔓延抑止の特効策となるのか？」 桑山幹夫
- ② 2021 年 5 月 7 日 "The Signing of RCEP: Its Geopolitical and Economic Implications for the Biden Administration and Japan-Latin America Trade Relations" Mikio Kuwayama、
- ③ 2021 年 5 月 20 日 <<ワシントン報告>> 「バイデン政権 100 日とラテンアメリカ」 マイケル・シフター：Inter-American Dialogue 代表
- ④ 2021 年 6 月 4 日 <<緊急論評>> 「急進左派政権の誕生か ペルー大統領決選投票」 遅野井茂雄 ラテンアメリカ協会理事（筑波大学名誉教授）
- ⑤ 2021 年 7 月 14 日 「コロナ禍の煽りで進展足踏み—ラテンアメリカにおける SDGs（持続可能な開発目標）」 桑山幹夫

- ⑥ 2021年8月18日 <<寄稿>> カスティジョ政権の成立とペルーの今後
—「大統領選結果公表」以降の動静— 村上勇介 京都大学教授
- ⑦ 2021年9月8日 「多極化時代のラテンアメリカへのアプローチ
—米欧日からアジア、アフリカ、中東、オセアニアまで」堀坂浩太郎
- ⑧ 2021年10月12日 「ラテンアメリカ・カリブ地域への政府開発援助（ODA）のあり方再考
— 持続可能な開発目標（SDGs）に照らして」桑山幹夫
- ⑨ 2022年1月24日 「ラテンアメリカ・カリブ諸国の気候変動対策の展望：
COP26 会議の合意を踏まえて（上）」桑山幹夫
- ⑩ 2022年3月14日 「ラテンアメリカ・カリブ諸国の気候変動対策の展望（下）
— ビジネスチャンスと課題」桑山幹夫

以 上

2021（令和3）年度決算書（案）

一般社団法人ラテンアメリカ協会

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	差異
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,738,658	8,480,320	2,258,338
未収会費	140,000	140,000	0
未収金	170,960	1,322,009	△ 1,151,049
前払費用	185,500	175,500	10,000
仮払金	134,138	165,862	△ 31,724
流動資産合計	11,369,256	10,283,691	1,085,565
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	102,030	204,056	△ 102,026
有形固定資産合計	102,030	204,056	△ 102,026
(2) その他固定資産			
差入保証金	625,000	625,000	0
その他固定資産合計	625,000	625,000	0
固定資産合計	727,030	829,056	△ 102,026
資産合計	12,096,286	11,112,747	983,539
II. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	6,876	7,472	△ 596
未払金	322,272	288,329	33,943
前受会費	2,975,000	3,142,000	△ 167,000
流動負債合計	3,304,148	3,437,801	△ 133,653
負債合計	3,304,148	3,437,801	△ 133,653
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
正味財産合計	8,792,138	7,674,946	1,117,192
負債及び正味財産合計	12,096,286	11,112,747	983,539

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①法人会費収入	8,700,000	8,925,000	△ 225,000
②個人会費収入	2,434,500	2,395,000	39,500
③事業収入	353,830	349,700	4,130
④受託調査・セミナー収入	33,974	30,000	3,974
⑤広告収入	320,000	320,000	0
⑥フォーラム収入	300,000	300,000	0
⑦雑収入	1,272,573	1,111,914	160,659
受取利息	103	95	8
雑収入	1,272,470	1,111,819	160,651
経常収益計	13,414,877	13,431,614	△ 16,737
(2) 経常費用			
①事業費	6,649,588	5,856,944	792,644
諸謝金	3,919,649	3,300,865	618,784
印刷費	1,815,000	1,793,000	22,000
通信費	355,807	355,436	371
旅費・交通費	0	700	△ 700
フォーラム経費	0	0	0
雑費	457,106	304,917	152,189
減価償却費	102,026	102,026	0
②管理費	5,648,097	5,527,029	121,068
諸謝金	2,528,020	2,337,220	190,800
理事費	0	0	0
借室光熱費	2,220,603	2,145,836	74,767
旅費・交通費	121,250	204,468	△ 83,218
備品費	0	72,918	△ 72,918
リース料	96,360	95,598	762
公租公課	70,000	70,000	0
雑費	611,864	600,989	10,875
経常費用計	12,297,685	11,383,973	913,712
当期経常増減額	1,117,192	2,047,641	△ 930,449
当期一般正味財産増減額	1,117,192	2,047,641	△ 930,449
一般正味財産期首残高	7,674,946	5,627,305	2,047,641
一般正味財産期末残高	8,792,138	7,674,946	1,117,192
II 正味財産期末残高	8,792,138	7,674,946	1,117,192

財 産 目 録

2022年3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	7,624		
普通預金			
三菱UFJ銀行 渋谷支店	10,731,034		
	10,738,658		
未収会費			
法人会員 1件	140,000		
未収金			
2022年度分会費他 SMBC GMO PAYMENT	115,000		
2021年度分広告料 1件	50,000		
その他	5,960		
	170,960		
前払費用			
2022年4月分借室料 三菱地所プロパティマネジメント	185,500		
仮払金			
2022年度分経費	119,672		
その他	14,466		
	134,138		
流動資産合計		11,369,256	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
PC	102,030		
(2) その他固定資産			
差入保証金			
事務所敷金 三菱地所プロパティマネジメント	625,000		
固定資産合計		727,030	
資産合計			12,096,286
II. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税 従業員等	6,876		
未払金			
法人税等 千代田都税事務所	70,000		
2021年度分経費	244,723		
その他	7,549		
	322,272		
前受会費			
法人会員 33件	1,780,000		
個人会員 125件	1,195,000		
	2,975,000		
流動負債合計		3,304,148	
負債合計			3,304,148
正味財産			8,792,138

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

① 計算書類及びその附属明細書の作成基準

一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成している。

② 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法による減価償却を実施している。

③ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式による。

附属明細書

1. 固定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額
有形固定資産	什器備品	204,056	0	0	102,026	102,030
	合 計	204,056	0	0	102,026	102,030

収 支 計 算 書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①法人会費収入	8,425,000	8,700,000	△ 275,000	
②個人会費収入	2,465,000	2,434,500	30,500	
③事業収入	320,000	353,830	△ 33,830	
④受託調査・セミナー収入	550,000	33,974	516,026	
⑤広告収入	320,000	320,000	0	
⑥フォーラム収入	300,000	300,000	0	
⑦雑収入	1,600,100	1,272,573	327,527	
受 取 利 息	100	103	△ 3	
雑 収 入	1,600,000	1,272,470	327,530	
事業活動収入計	13,980,100	13,414,877	565,223	
2. 事業活動支出				
①事業費	7,510,000	6,547,562	962,438	
諸 謝 金 支 出	3,550,000	3,919,649	△ 369,649	
印 刷 費 支 出	1,900,000	1,815,000	85,000	
通 信 費 支 出	350,000	355,807	△ 5,807	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	1,000,000	0	1,000,000	
フ ォ ー ラ ム 経 費 支 出	0	0	0	
雑 費 支 出	710,000	457,106	252,894	
②管理費	6,470,000	5,648,097	821,903	
諸 謝 金 支 出	2,500,000	2,528,020	△ 28,020	
理 事 費 支 出	100,000	0	100,000	
借 室 光 熱 費 支 出	2,300,000	2,220,603	79,397	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	500,000	121,250	378,750	
備 品 費 支 出	100,000	0	100,000	
リ ー ス 料 支 出	100,000	96,360	3,640	
公 租 公 課 支 出	70,000	70,000	0	
雑 費 支 出	800,000	611,864	188,136	
事業活動支出計	13,980,000	12,195,659	1,784,341	
事業活動収支差額	100	1,219,218	△ 1,219,118	
当期収支差額	100	1,219,218	△ 1,219,118	
前期繰越収支差額	6,845,890	6,845,890	0	
次期繰越収支差額	6,845,990	8,065,108	△ 1,219,118	

収支計算書に対する注記

収支予算書及び収支計算書は「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に準拠して作成している。

1 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

現金預金、未収会費、未収金、前払費用、前払金、仮払金、預り金、未払金、仮受金、前受会費を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載する通りである。

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	8,480,320	10,738,658
未 収 会 費	140,000	140,000
未 収 金	1,322,009	170,960
前 払 費 用	175,500	185,500
仮 払 金	165,862	134,138
合 計	10,283,691	11,369,256
預 り 金	7,472	6,876
未 払 金	288,329	322,272
前 受 会 費	3,142,000	2,975,000
合 計	3,437,801	3,304,148
次期繰越収支差額	6,845,890	8,065,108

2022年5月24日

監査報告書

一般社団法人 ラテンアメリカ協会
会長 佐々木 幹夫 殿

一般社団法人 ラテンアメリカ協会

監事 安藤 泰志

監事 棟方 直比古

私ども監事は、2021年度の一般社団法人ラテンアメリカ協会の事業報告書、計算書類および附属明細書、理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監査の方法は、理事会その他の重要な会議（リモート）に出席するほか、電磁的方法等で、理事等から事業報告を聴取、また重要書類を閲覧し業務の執行状況を監査し、各種計算書類と関連資料（財産目録等）、その他重要な決裁文書及び報告書の閲覧・確認するなど、必要と思われる監査を行いました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告書および附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示していることを確認いたしました。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書およびその附属明細書は、会計帳簿の記載と合致し、本法人の収支及び財産の状況を適正に表示されていることを確認いたしました。
- (3) 理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (4) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。

以上

(署名) 安藤 泰志 

(署名) 棟方 直比古 

2022（令和4）年度事業計画

<2019年度事業計画の一層の推進と体制充実>

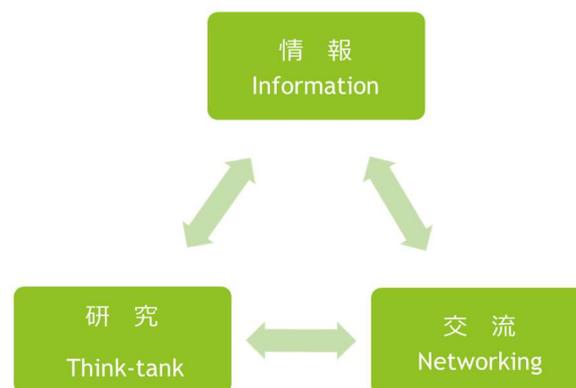
* 網掛け部 2019/2020年度に対応・実施済

* 緑色マーカ一部：2021年度対応済

* 青マーカ一部分 2022年度推進・計画中

1. 事業領域の拡充：

ラテンアメリカ地域への関心向上と関係強化の実現のため、以下の通り、協会活動の3大領域である情報・研究・交流の一層の拡充を図るとともに、そのための体制充実を目指す。



2. ラ米関連情報の集積と発信（Information）

□ ホームページ等の拡充

→コンテンツ充実（有識者インタビュー新設）、HPデザイン刷新・スマホ対応化、

英語サイト充実：各国商工会議所/シンクタンクとの連携

→「投稿欄」充実

→フェイスブック、新着情報デザイン更新（メルマガ発信強化「読者の皆様へ」）、

□ ラテンアメリカ時報

→レベルの維持・向上、

→編集体制の組織化→時報編集体制強化取組中

□ 講演会・セミナー（WG：アクティブに活動中）

→4月にオンライン・リアルハイブリッド試行

→投稿欄寄稿者講演会「ラテンアメリカなるほどトーク」→4月以降第2弾開始

→中南米関連新著著者によるブックトーク（学会との繋がり）

→無料・安価会場の確保

3. ラ米情勢等の研究と提言（Think-Tank）

□ シンクタンク機能の強化→重点施策の一つ

□ ラテンアメリカ・カリブ研究所

→研究員のリクルート：2020年度 White 氏/シニア・フェロー、

2021年度 浜端喬氏、高橋亮太氏

→研究成果の発信

（→一般公開：2021年度 9/9 本、20年度 7/14 本、19年度 0/15 本）

□ 大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム

→継続的な実施（年4回）

□ 内外のシンクタンク・研究機関、ラテンアメリカ関連学会等との連携

→ IAD との共催セミナーの継続（2022年度【下期】は MOFA に予算申請済）

→シンクタンクとの協力覚書：COMEXI、CARI、ウルグアイ・カトリカ大学

→日本ウルグアイ外交樹立100周年記念セミナーでの講演

□ 調査研究・セミナー等の受託事業

⇒受託事業入札参加

4. 出会いと交流の場の提供（Networking）→コロナ禍で、活動制限

□ 日本人・会員同士の交流

→新春懇談会（年1回）、ラテンアメリカ・サロン（年1回）、

ラ米関連団体連絡協議会（年4回）

→異業種ラ米情報交換会の定期開催（年3回）、講演会後のネットワーキング懇親会

□ ラ米各国関係者との交流

→駐日大使館との共催事業

2021 年度：コロンビア（セミナー）、コスタリカ（関係強化のための検討会＝本国外務省主催）

2020 年度：グアテマラ（セミナー）、

来日要人とのラウンド・テーブル

→在日日系人団体との協力

□ ラ米協会自体のネットワークの拡大

→講演会等の共催、調査研究等の受託

政府機関、政府系機関、経済団体、ラ米主要国にある日本商工会議所

大学・研究機関、ラ米関連団体、

5. 事業・運営体制の強化

□ 事業永続化（維持発展）の為に体制・収入拡大の課題へのチャレンジ

（例） 時報編集体制強化

□ 理事体制刷新による活性化、理事会以外に意思疎通・情報共有目的の懇談会開催

□ 法人会員及び個人会員の維持・拡大策

→図書館会員（大学・公共図書館）の新設（会費年 10,000 円・「時報」各 2 冊）

⇒2030 目標（SDG s）、法人 100（現状 74） + 個人等 400（同 241）

⇒スタートアップ法人会員の新生（3.5 万円/口、設立 3 年以内、最大 3 年）

□ 主要事業毎に常務理事会メンバーが役割分担、理事・顧問も必要に応じ活動に参加

→運営体制の強化 + 意欲ある会員の協会事業へのリクルート促進

主要事業：ラ米時報、講演会、HP、ラテンアメリカ・カリブ研究所、

渉外・ネットワーク拡大（事務局・各理事の連携）

□ 事務局機能の強化、

→人的・インフラ整備

□ 会費・講演会参加費の新徴収システムの導入

以上

2022年度 収 支 予 算 書

2022年4月～2023年3月

(単位 : 円)

科 目	2022年度 予算額	2021年度 決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①法人会費収入	8,625,000	8,700,000	△ 75,000	
②個人会費収入	2,560,000	2,434,500	125,500	
③事業収入	350,000	353,830	△ 3,830	
④受託調査・セミナー収入	550,000	33,974	516,026	
⑤広告収入	320,000	320,000	0	
⑥フォーラム収入	300,000	300,000	0	
⑦雑収入	500,100	1,272,573	△ 772,473	
受 取 利 息	100	103	△ 3	
雑 収 入	500,000	1,272,470	△ 772,470	
事業活動収入計	13,205,100	13,414,877	△ 209,777	
2. 事業活動支出				
①事業費	7,510,000	6,547,562	962,438	
諸 謝 金 支 出	3,750,000	3,919,649	△ 169,649	
印 刷 費 支 出	2,200,000	1,815,000	385,000	
通 信 費 支 出	350,000	355,807	△ 5,807	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	500,000	0	500,000	
フ ォ ー ラ ム 経 費 支 出	0	0	0	
雑 費 支 出	710,000	457,106	252,894	
②管理費	6,470,000	5,648,097	821,903	
諸 謝 金 支 出	2,500,000	2,528,020	△ 28,020	
理 事 費 支 出	100,000	0	100,000	
借 室 光 熱 費 支 出	2,300,000	2,220,603	79,397	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	500,000	121,250	378,750	
備 品 費 支 出	100,000	0	100,000	
リ ー ス 料 支 出	100,000	96,360	3,640	
公 租 公 課 支 出	70,000	70,000	0	
雑 費 支 出	800,000	611,864	188,136	
事業活動支出計	13,980,000	12,195,659	1,784,341	
事業活動収支差額	△ 774,900	1,219,218	△ 1,994,118	
当期収支差額	△ 774,900	1,219,218	△ 1,994,118	
前期繰越収支差額	8,065,108	6,845,890	1,219,218	
次期繰越収支差額	7,290,208	8,065,108	△ 774,900	

一般社団法人ラテンアメリカ協会 2022年度 理事・監事候補 (案)

(○ 新任理事・監事【再任】、◎ 新任理事・監事【新任】、下線 任期中)

理事	○	佐々木 幹夫	三菱商事(株)元会長
理事	○	佐藤 悟	三菱重工業(株)顧問、元駐ブラジル・スペイン大使
理事	○	堀坂 浩太郎	ラテンアメリカ・カリブ研究所所長、上智大学名誉教授
理事	○	工藤 章	元三菱商事(株)理事
理事	○	峯苔 彰悟	元伯国三菱商事リオデジャネイロ支店、及び中国三菱商事(北京)金属部長
理事	○	桜井 悌司	元関西外国語大学教授、元日本貿易振興機構(JETRO)監事
理事	○	桜井 敏浩	徳倉建設(株)特別顧問
理事	◎	山田 彰	元駐ブラジル・メキシコ大使
理事	◎	吉田 憲	九州大学特任教授、前国際協力機構(JICA)中南米部長
理事	○	岩見 元子	元(一財)海外投融資情報財団 上席特別研究員
理事	○	桑山 幹夫	神戸大学経済経営研究所フェロー、元CEPAL上級経済問題担当官
理事	○	今野 秀洋	元経済産業省審議官
理事	○	佐々木 修	元三菱商事(株)理事
理事	◎	眞銅 竜日郎	元駐ウルグアイ大使、元日本貿易振興機構(JETRO)理事
理事	◎	田中 秀治	米州開発銀行(IDB)アジア事務所所長
理事	○	富田 宏	イー・アール・エム日本(株)パートナー、Low Carbon Economy Transition(LCET)
理事	◎	濱口 伸明	神戸大学経済経営研究所教授
理事	○	村上 秀徳	元チリ大使(農水省審議官)
理事	○	森田 嘉彦(*)	元(株)国際協力銀行(JBIC)副総裁
理事	○	山岸 豊生	豊田通商(株)渉外部 海外渉外室中南米地域担当部長
監事	○	棟方 直比古	元事務局長、元日本・東京商工会議所エグゼクティブ・コーディネーター
監事	◎	牧内 博幸	前駐ドミニカ共和国大使

(*) 他理事との任期を合わせる為、一旦退任の上、改めて新任理事就任

(参考) 顧問名簿

顧問	安藤 泰志	元ニカラグア大使
顧問	伊藤 昌輝	前日本ベネズエラ協会会長、元駐ベネズエラ大使
顧問	遅野井 茂雄	筑波大学名誉教授
顧問	河村 健夫	元衆議院議員、元内閣官房長官
顧問	田中 克之	(公財)海外日系人協会理事長、元駐スペイン大使
顧問	田中 径子	日産フィナンシャルサービス執行役員、元駐ウルグアイ大使
顧問	寺田 輝介	元駐韓国・メキシコ大使、元(公財)フォーリン・プレスセンター理事長
顧問	細野 昭雄	国際協力機構(JICA)緒方研究所シニア・アドバイザー、元駐エルサルバドル大使

(参考) 退任顧問

	小川 元	元駐チリ大使、元衆議院議員
	河嶋 正之	元日本貿易振興機構(JETRO)メキシコ事務所長
	式部 透	元米州開発銀行(IDB)アジア事務所長
	藤島 安之	イービストレード株式会社取締役、元駐パナマ大使、元通商産業大臣官房審議官

(参考) ラテンアメリカ協会 2021年度 理事・監事・顧問

会長（代表理事）	佐々木 幹夫	三菱商事（株）元会長
副会長・理事	佐藤 悟	三菱重工業（株）顧問、元駐ブラジル・スペイン大使
副会長・理事	堀坂 浩太郎	ラテンアメリカ・カリブ研究所所長、上智大学名誉教授
専務理事	佐々木 修	元三菱商事（株）理事
常務理事	岩見 元子	元（一財）海外投融資情報財団 上席特別研究員
常務理事	桑山 幹夫	神戸大学経済経営研究所フェロー、元CEPAL上級経済問題担当官
常務理事	桜井 敏浩	徳倉建設（株）特別顧問
常務理事	桜井 悌司	元関西外国語大学教授、元日本貿易振興機構（JETRO）監事
理事	遅野井 茂雄	筑波大学名誉教授
理事	工藤 章	元三菱商事（株）理事
理事	今野 秀洋	元経済産業審議官
理事	田中 径子	日産フィナンシャルサービス執行役員、前駐ウルグアイ大使
理事	富田 宏	PwCアドバイザリー合同会社 インフラストラクチャー部門 ディレクター
理事	村上 秀徳	元駐チリ大使、元農林水産審議官
理事	森田 嘉彦	元（株）国際協力銀行（JBIC）副総裁
理事	山岸 豊生	豊田通商（株）渉外部 海外渉外室中南米地域担当部長
理事・事務局長	峯苜 彰悟	元中国三菱商事（北京）金属部長、元伯国三菱商事リオデジャネイロ支店金属部長
監事	安藤 泰志	元駐ニカラグア大使
監事	棟方 直比古	元日本・東京商工会議所エグゼクティブ・コーディネーター

顧問	伊藤 昌輝	前日本ベネズエラ協会会長、元駐ベネズエラ大使
顧問	小川 元	元駐チリ大使、元衆議院議員
顧問	河嶋 正之	元日本貿易振興機構（JETRO）メキシコ事務所長
顧問	河村 建夫	前衆議院議員、元内閣官房長官
顧問	式部 透	元米州開発銀行（IDB）アジア事務所長
顧問	田中 克之	（公財）海外日系人協会理事長、元駐スペイン大使
顧問	寺田 輝介	元駐韓国・メキシコ大使、元（公財）フォーリン・プレスセンター理事長
顧問	藤島 安之	イービストレード株式会社 取締役、元駐パナマ大使、元通産大臣官房審議官
顧問	細野 昭雄	国際協力機構（JICA）研究所 シニア・リサーチ・アドバイザー、元駐エルサルバドル大使

<ブランク>